

県営住宅光ヶ丘団地“居場所”再開について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動を休止していた県営住宅光ヶ丘団地(三島市)の“居場所”が再開されたので、10月20日(水)に公社役職員が訪問してきました。

この取り組みは、三島市社会福祉協議会が県営住宅の一室を目的外使用で借り受け、平成30年4月から開始されました。

現在は、運営主体が団地自治会に移っています。

※“居場所”とは、法令や制度に基づかない地域の住民が主体となって運営し、高齢者、障害のある人、子どもの垣根なく、誰もが気軽にふれあえる地域交流の場のこと。県内でも年々増えてきており、その取組は各地域によってさまざまである。

当日は、近隣のデイサービスセンターの職員によるポールを使ったノルディックウォーキング教室が行われました。

秋晴れの下、ハロウィンの衣装をした方々もいて、皆さん楽しそうに取り組まれていました。

当団地は外周道路に高低差があり、お年寄りには1周でも大変です。

参加者は先生に励まされ、「はあはあ」と息を切らせながらも2週目に進んでいきました。



【県営住宅光ヶ丘団地の概要】

所在地 三島市光ヶ丘2丁目23他

竣工年度 昭和47年(4・5・6・7棟)・昭和49年(9・10・12・13棟)・平成26年(A・B棟)

戸数 296戸

階数 5階(7・12・13・A・B棟にエレベーター設置)

専有面積 40.5～69.6㎡

間取り 1DK～3LDK